

～町並み見学・交流会を終えて～

- 町並みにある標識・案内板について、道路に埋めてある案内図などがあり参考になり、湯浅町伝建地区にも取り入れて行きたいと思った。【木下】
- 今井町での視察を通じて湯浅の町並みには生活感があり親しみやすいという良い点を見つけることができた。【太田】
- 今井町町並み保存会は今井町の歴史を勉強して後世へ遺していく意欲が感じられた。湯浅町伝建地区も住民全員参加で町並み保存に対する意識が必要だと思った。語り部をするにあたって、来訪者の見学マナーの意識付けも勉強になった。【半邊】
- 今日の今井町町並み見学をしている中で湯浅が誇れるものは何かと考えた。私は湯浅に多く残っている井戸の水を防災などに活かしていけば良いと思った。【三橋】
- 若林会長の伝建地区に対する熱意に感動した。湯浅町にもそれくらい熱意をもった人が出れば、もっと良くなっていくと思った。【上野山】
- 有意義な視察研修になった。立派な商家を活かした町並み保存がすごいと感じた。湯浅は住民同士のつながりを活かした町並み保存をしていけば良いと思った。
【加納芳明】
- 今井町は町並み整備がとても進んでいると感じた。若林会長が言っていたように整備した町家は、その後、住民が守って行かないと廃れていくということが勉強になった。
【楠山】
- 湯浅は湯浅ならではの良さを活かしたまちづくりを進めていけばよいと思った。
【蔵野】
- 今井町の道路整備を見て、道路の舗装を先に進めてほしいと思った。【松下】
- 若林会長の「町にお金がないと知恵を出し汗を流すしかないお金がないことは宝物だ」という言葉が印象に残っている。湯浅伝建地区のまちづくりに対しても発想を転換して前向きに考えていきたい。【見矢】
- 伝建地区の中に整備事務所があり、保存協議会との協力体制が整っていると感じた。
【新網】
- じっくり町並みを見学できてとても参考になった。若林会長の今井町に対する誇りと熱意が強く感じられた。町案内をするときの住民に対する心遣いが勉強になった。
【戎 文化財保護審議会委員長】
- 今井町の町並みは修理工事が行き届きすぎている。湯浅の方が、趣きが感じられて良いと感じた。道路整備に関しては素晴らしいと思った。【和泉 文化財保護審議会委員】
- 今井町は整備されすぎていると感じた。湯浅伝建地区に関して、伝建地区の住民の努力だけでは限界がある。町民全体で伝建地区のまちおこしについて考える時期にきていると思う。【根来 文化財保護審議会委員】

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

編集委員
楠山 吉雄
都築 豊
半邊 宗五
妻木 禎子
齋藤 春太郎

まちなみ瓦版

- 平成25年1月4日
- 第14号（新年号）
- 発行：湯浅伝建地区保存協議会
- 発行責任者：木下 智之

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

去年は、北の町老人憩の家の有効活用を望む声に応えて模様替えを行い、伝建地区に関心を持って来られる方々の受け入れに少しでも貢献することができました。今年は、県がおこなっている街路整備の予備設計が出来上がります。懸案であった道路舗装や排水、電柱などの整備方法について検討を進め、住環境整備の実現に向けて目ざましい進展を見せる一年になりそうです。私たちのまちを住みよいまちにするための取り組みに皆様もぜひご参加ください。

本年も皆様方とともに、誇りと愛着をもって暮らしていける伝建地区のまちづくりを目指したいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



湯浅伝建地区保存協議会
会長 木下 智之

強い揺れと津波が想定される湯浅をいかに守るか



【第1部 パネルディスカッション】

～京都大学防災研究所共同研究～

10月27日（土）『強い揺れと津波が想定される湯浅をいかに守るか』と題して地震・津波防災に関する研究集会が北の町老人憩の家の2階で開催され、伝建地区住民をはじめ防災に関心の高い方約50名が参加しました。

第1部では、高井 伸雄氏（北海道大学）が地震環境の地域差と備え、渡辺 千明氏（秋田県立大学）が地域の現状と課題、林 康裕氏（京都大学）が木造住宅の耐久性と地震対策、牧 紀男氏

（京都大学）が災害からの復旧・復興と、それぞれの専門分野で研究成果を発表した後、パネルディスカッションを行いました。

第2部では、京都大学学生、林 康裕氏・多幾山 法子氏（京都大学）による2011年に行われた湯浅伝建地区の町家の耐震調査についての報告が行われました。

質疑応答では、参加者から湯浅町の地震・津波対策について多くの質問が出され、防災に対する参加者の関心の高さに専門家の先生方は感心されていました。



【第2部 2011年調査報告会】

湯浅伝建地区保存協議会役員会を開催

日 時：平成24年10月25日（木） 午後7時30分～午後8時50分

場 所：北の町老人憩の家1階

出席者：木下会長、太田副会長、三橋副会長、半邊副会長、事務局2名

【議題】

1. 平成24年度湯浅伝建地区保存協議会視察研修について

役員より電線地中化や道路整備、わかりやすい案内板・標識の設置について学びたいという意見がでたこともあり、町並み整備の先進地である奈良県橿原市「今井町伝建地区」へ、日帰り視察研修を行う運びとなりました。また、湯浅町文化財保護審議委員会からも参加を呼びかけることとしました。

2. その他

（1）他伝建地区の湯浅視察研修受け入れについて

奈良県宇陀市松山地区街なみ環境整備協議会が湯浅へ視察研修に来ることが事務局より報告されました。

（2）旧小川家の改修工事について

現在、北浜町街づくり委員会（会長 油谷 太一氏）が「いこいの店北浜」を開いて土・日・祝日に観光客へのおもてなしを行っています。委員会が隣の建物（旧小川家）を活用し、活動の幅を広げたいということで、用地購入費を町へ寄付されるとの報告が伝建推進室からありました。その寄付金で町が用地を買い取り、建物は所有者から町へ寄付されるとのことです。

建物の改修工事の進行状況については、概算設計を行っており、平成25年度事業として文化庁へ要望することでした。

宇陀市松山伝建地区の住民が視察研修で来訪！

11月17日（水）に奈良県宇陀市松山地区街なみ環境整備協議会の委員17名・事務局2名が湯浅へ視察研修に来られました。

午前中、事務局より湯浅伝建地区の概要・町並みの歴史についての説明を駅前多目的広場で行い、その後、半邊副会長の案内のもと熊野古道周辺の町並みを視察しました。あいにくの雨天でしたが、環境整備協議会のみなさんは湯浅の歴史ある町並みを約1時間興味深く見学していました。



【麴資料館での見学】

町家や手作り行灯について見学しました。

その後、北の町老人憩の家で湯浅の紹介DVDの鑑賞と湯浅伝建地区保存協議会との交流会を行いました。交流会では湯浅伝建地区の町家での来訪者受け入れ状況について学びたいということで、対応にあたった木下会長、太田・半邊両副会長の説明に対して熱心に耳を傾けていました。



【熊野古道周辺の町並み案内】

午後からは、初めに北の町老人憩の家で行なっているパネル展示を見学していただき、その後、湯浅伝建地区見学を行いました。雨が強まってきたため岡正と麴資料館のみの見学となりましたが、麴資料館では山路氏の案内のもと



【湯浅伝建地区保存協議会との交流会】

湯浅小学校3年生が甚風呂を見学

11月27日（火）に湯浅小学校3年3組の生徒26名が甚風呂へ社会見学に来ました。社会科学習「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」において、昔の道具や生活用品、またその使い方について理解し、人々の知恵や生活様式の変化について考えることを目的としたもので、甚風呂スタッフ2人の案内のもと生徒たちは、家では見たことのない古民具に触れて目を輝かせていました。また、スタッフの説明を一生懸命聞きメモを取っていて、「この古民具の使い方がわかりますか？」という甚風呂スタッフの問いかけにも積極的に手を上げて答えていました。



見学を終えての感想では、「昔使っていた道具を見られてよかった」などとても充実した様子でした。

湯浅伝建地区保存協議会in今井町

11月28日（水）に奈良県の橿原市今井町伝建地区で保存協議会の視察研修を行いました。初めに『今井まちなみ交流センター 華薨（はないらか）』で今井町町並み保存会の若林会長と今井町並整備事務所の寺田所長から今井町の歴史についての説明を受けました。それから若林会長と役員の方々に町並みを案内していただきました。



【若林会長（左端）による町並み案内】

今井町は、電線地中化、道路、案内板・標識の整備の先進地です。湯浅伝建地区でも電線地中化や道路整備実現に向けて進めているところなので、参加した委員は町並み整備について積極的に学ぼうとする姿勢で見学していました。



【今井町の町並み見学】

町並みを見学後『華薨』に戻り、今井町町並み保存会の方々との交流会を行いました。こちらから事前にお送りしていた質問事項について回答いただきました。若林会長の今井町に対する思いが素晴らしく、参加者は大いに刺激を受け収穫の多い視察研修となりました。

このような機会を活かして住民同士の交流の輪を広げていきたいと思ひます。



【今井町町並み保存会との交流会】